

経営比較分析表（平成28年度決算）

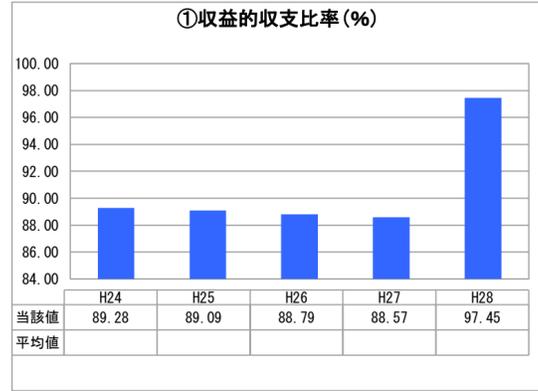
石川県 金沢市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.97	89.20	2,602

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
454,497	468.64	969.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,408	2.45	1,799.18

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



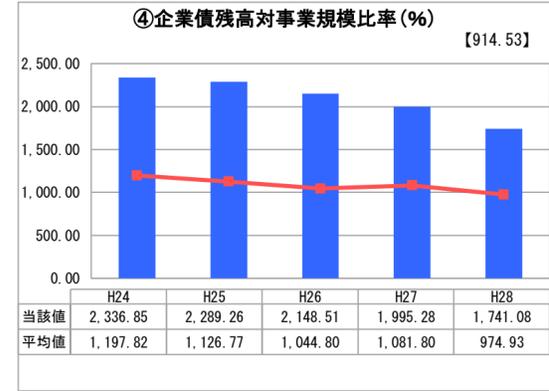
「単年度の収支」



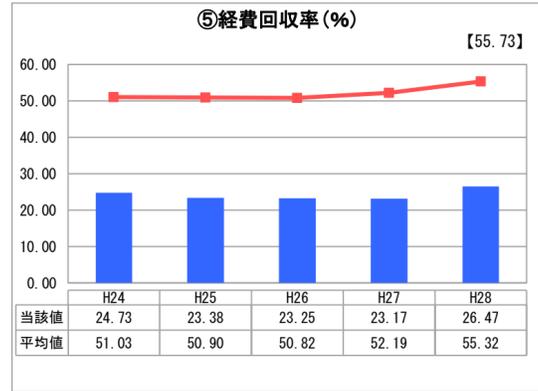
「累積欠損」



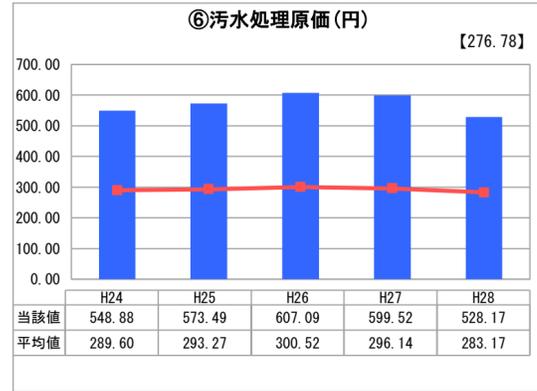
「支払能力」



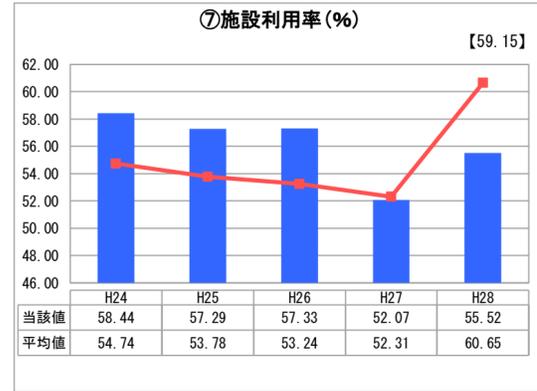
「債務残高」



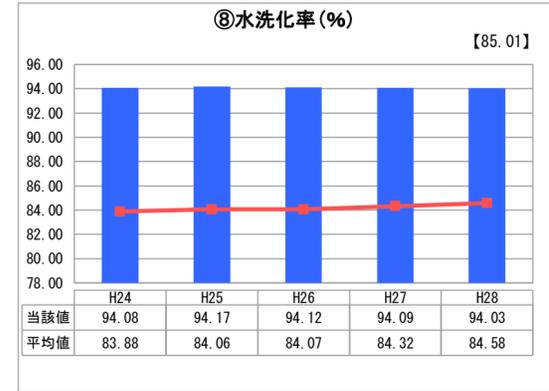
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

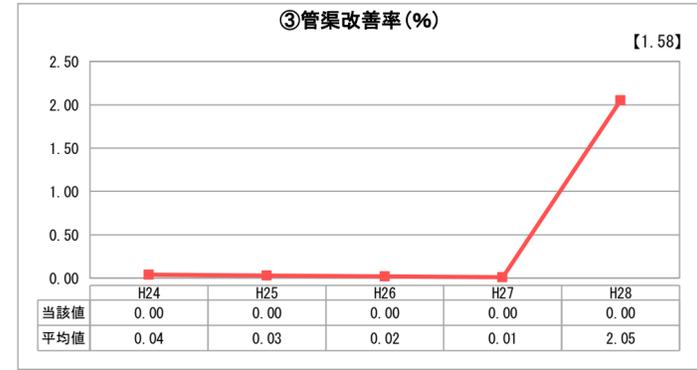
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、事業対象地域の高齢化・過疎化による世帯人数の減などにより、下水道使用料収入が減少していることから100%未満となっています。
 ④企業債残高対事業規模比率については、使用料収入に対し整備事業に要した地方債残高が大きいことから類似団体の平均値を上回っていますが、着実な償還の実施により経年比較において比率は減少しています。
 ⑤経費回収率については平成21年度に公共下水道事業とあわせて料金改訂をしていますが、類似団体の平均値よりも低く、⑥汚水処理原価については類似団体よりも高い数値となっています。今後は経営の健全化を図るために維持管理費の縮減を進めていく必要があります。
 その他の指標については、類似団体と比較により概ね経営の効率性は保たれていると言えます。

2. 老朽化の状況について

金沢市の農業集落排水処理施設は18施設あり、最も古いところでは昭和62年度に供用を開始しています。現在、最適整備構想に基づき経年劣化により機能が低下した電気・機械設備、処理槽等の改修を順次実施しています。
 管渠については現在耐用年数を超えたものはなく、今後の事業の規模を考慮しつつ、効率的な更新に努めます。

全体総括

世帯人数の減や節水型家電の普及に伴い、料金収入は減少傾向にあります。また、処理施設は供用開始後20年以上が経過し、改築更新費用および維持管理費用の増大が課題となっています。
 持続可能な生活排水処理の維持のため、今後公共下水道への接続および処理施設の統合により、施設を順次廃止し、改修・更新費用を縮減し経営の健全化を図ります。
 さらに、平成30年度までに公営企業会計を適用することにより、経営・資産等の正確な把握による経営管理の向上を目指しています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。